

掛東学園だより

平成30年7月号
発行 掛東学園
担当 掛川市立西山口小学校
すこやかこども園

一園学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域の子どもたちを育てましょうー
(東中・掛一小・上内田小・西山口小・ひだまり・すこやか・智光幼・掛川特別支援学校・掛川工業高・第一地区・第二地区・南郷地区・上内田地区・西山口地区)

地域と連携した活動を推進していきます

6年目を迎える掛東学園子ども育成支援協議会。平成30年度は西山口小学校が事務局を担当します。本年度から、各地区のまちづくり協議会長さんにもご参加いただき、地域との連携を一層進めていきたいと考えています。

本年度も学園全体の共通取組は「笑顔で挨拶運動（6年目）」と「わんわんわん運動（4年目）」の2本柱です。挨拶のぼり旗やチラシ・ポスターなどで実践及び広報に力を入れていきます。また、地域コーディネーターによる各園・校の教育活動や教育環境も充実しています。今年も子どもたちの健やかな成長のために、掛東学園内の地域の皆様と園・学校が連携して教育活動を展開していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

さて、6月9日(土)には平成30年度掛東学園子ども育成支援協議会全体会が東中学校の体育館で行われました。本年度は、講師に県人づくり推進委員の羽田秀樹氏をお招きして、「地域で育む子どもの未来」と題してご講演を頂きました。地域の宝、未来への光である子どもたちのために一人一人ができること、しなければならないことをご示唆いただきました。(裏面)

続く6月20日(水)には、すこやかこども園において公開保育が実施され、保幼小中一貫教育の土台を見ることができました。なお、本年度の事務局は掛東中です。11月7日(水)に同校において公開授業を予定しています。各園・校が「学び合い」「関わり合い」に視点をあてて経営や研修に努めています。その成果の一端が見られることを期待しています。

また、これまでの幼小交流に加え小学校3校による児童交流も新たに計画されています。掛東学園としてのつながりが一層強くなる活動を推進していきたいと考えています。ご支援をよろしくお願ひします。



○掛東学園子ども育成支援協議会

会長	伊藤 公夫 (上内田)	【敬称略】
副会長	榛葉登喜男 (西山口)	
	加藤 裕弥 (掛東中)	山本浩史 (西山口小)
事務局	萩田 辰男 (西山口小)	沖 孝子 (西山口小)

○地域コーディネーター

福田浩文 (掛東中、智光幼) 青嶋利雄 (上内田小)
兵藤嘉男 (西山口小、すこやか)
※掛一小・子育てセンターひだまりについては検討中

子育てハッピーアドバイス ～掛東学園全体研修会が開催される～

掛東学園、年に1回の全体研修会が開かれました。佐藤教育長をはじめ鷺山、山本市議会議員のご出席をいただき、全150名余りの参加者をもって盛大に実施できました。

伊藤会長の挨拶を皮切りにご来賓の方々の挨拶、本年度の取組説明、地域コーディネーターの紹介がされました。全体会に引き続き、県の人づくり地域懇談会を実施しました。

本懇談会は県の事業で本年度上内田小が委託を受けた活動です。講師には県人づくり推進委員であり、大浜学園中学校区子ども育成支援協議会々長としてご活躍の羽田秀樹氏をお迎えしての充実した時間となりました。羽田氏は中学校長の経験に加え、社会教育にも精通され、現在は私たちと同じ中学校区学園化の活動を先駆的に実践されている方です。当日は社会の変化に合わせての子育てのポイントをわかりやすく教えていただきました。「子育てハッピーアドバイス」は子どもの心理を理解する大切さと共に、親も抱え込まないことを訴えてくれました。子どもの「自己肯定感」という土台の上にしつけやルール、学習が築かれるとのご示唆は心に響くものでした。子育てはもちろんのこと、今後、地域で子どもをたちを見守り、育てていく上で貴重なお話でした。



【掛東学園子ども育成支援協議会】

○本年度及び今後の課題

- ・各地区まちづくり協議会との連携
※本年度より協議会長が推進委員として参加、次年度より持ち回り表にて協議会長が本会の会長となる。
- ・推進委員の削減を中心とした組織の見直し
- ・年1回の全体研修会開催場所の見直し
※これまでは掛東中を会場としてお借りしていたが、中体連に向けての時期でもあり、会場校への負担が大きいことから。
- ・事務局のあり方とコーディネーターの役割について
※持ち回りによる学校による事務局担当の負担軽減。コーディネーターの役割と事務局の役割との役割分担の検討。
- ・市学園化構想第2ステージ（平成29年度より）に対する掛東学園の方向性
※モデル地区の実践を参考に検討していく



○学校や園・家庭・地域がそろってあいさつ運動
～まずは大人から声をかけよう、続けよう！～

○家族の会話、地域の方々との会話をひろげよう
～会話が行き交う地域は防犯意識も高い！～

掛東学園だより

平成30年10月号
掛東学園
(掛川市立上内田小学校)

一園・学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域子どもたちを育てましょう
(東中・掛一小・上内田小・西山口小・ひだまり幼保・すこやか幼保・智光幼・掛川工業高・第一地区・第二地区・南郷地区・上内田地区・西山口地区)

東中学校区3小学校委員長交流会が行われました

7月26日掛川第一小学校にて、各小学校委員会の委員長(第一小11名、西山口小9名、上内田小6名の参加)が集まって各校の活動を紹介したり、リーダーとして日頃の悩みなどを出し合いました。参加児童は他校の活動の発表を聞き、自校にはない活動には積極的に質問して今後の活動の参考にしようとする意欲的な姿が見られました。



感想

- ・同じ中学校に行くことになる人たちと話せて良かったです。
- ・みんなに知らせたいことを昼の放送でクイズ形式で行うなど、他校の取り組みが参考になり、自分の学校でもやろうと思いました。
- ・リーダーとしての悩みは他校の人と同じで励みになりました。

わんわんわんの日はどのようにすごしていますか

毎月15日は『わんわんわんの日』ですね。

わん(one)…一日に一度は今日のできごとを話そう

わん(one)…一週間に一度は身の回りのことを話そう

わん(one)…一月に一度は将来のことを話そう



15日が平日か休日かによっても過ごし方が違うと思いますが、テレビ等のメディアを消して家族の絆を深めようと考えてくれています。みなさんが、どのように過ごしているのか少し紹介します♪

家族との時間が増え、その時間を大切にする良い機会になっています。

- ・弟と人生ゲームをして遊びました。その日は早く寝たので、翌朝早く起きることができました。
- ・夕ご飯の手伝いをしてくれました。食事中はたくさんのお話ができて楽しかったです。
- ・家の手伝いをたくさんしてくれて、妹の面倒もみてくれました。
- ・お父さんに将棋を教えてもらいました。はさみ将棋が楽しく、盛り上がりました。

休みの日を利用して出掛けたり、何かに挑戦する機会になっていてとてもいいですね。

- ・おじいちゃん、おばあちゃんと海釣りに行きました。自分で釣った魚を自分で3枚におろして、からあげをつくりました。
- ・いとこと「るくる」に行ってきました。電車に子どもだけで初めて乗って、とても良い経験になりました。
- ・休みの日だったのでケーキを作ってくれました。慣れない手つきでかわいいおいしいケーキを作ってくれました。

お知らせ

☆11月7日(水)掛東学園保幼小中一貫教育研究会が東中学校で行われます。各園校の子どもたちの実態を元に、どのようにして地域子どもたちに生きる力をつけさせていくかを研修していきます。掛東学園推進委員の皆様には授業参観の御案内をさせていただきます。御都合の良い方はぜひ、『学び合い』を軸にした授業と東中学校生徒の頑張りを参観していただければ幸いです。

地域と共に歩む学校

上内田小の児童は、全学年地域の行事に参加します。

- 1年生…地区学習センターでの七五三
- 2年生…本校体育館での地区敬老会
- 3年生…本校体育館での地区敬老会
- 4年生…本校体育館での地区文化祭
- 5年生…本校体育館での地区文化祭
- 6年生…地区学習センターでの平和の集い



上内田地区まちづくり協議会ボランティア部の活動

- ・校庭の土入れ
- ・緑のカーテン設置
- ・樹木の剪定
- ・台風倒木の片付け
- ・陸上競技大会に向けてのトラック、走り幅跳び助走路整備



地域読み聞かせボランティア「11ぴきのねこ」さんによる毎月の読み聞かせや、大型絵本読み聞かせやクリスマスの特別企画。クリスマスの実演読み聞かせは迫真に迫る演技！



地域の皆様や農協さんによる授業への協力

- ・クラブ活動の部門を増設、6クラブすべて地域の皆様が講師。グランドゴルフクラブ、絵手紙クラブ、木工工作クラブ、手芸クラブ、調理クラブ、将棋クラブ
- ・サツマイモのつるさしや芋掘り
- ・お茶の生産から淹れ方まで
- ・ティサービスねねの里訪問
- ・上内田の歴史 探訪
- ・しめ縄づくり
- ・稲作



上内田サマースクール

卒業生も後輩の学習に協力してくれます。夏休みの数日間、中学生が本校児童に勉強を教えに来てくれます。小学生は中学生になってさらに頼もしくなった先輩方に勉強を教えてもらう事ができてとても喜んでできました。これも上内田小の大切な伝統の一つです。



にこじろうタイム校外編やにこにこ広場ボランティア、上小感謝祭

世のため、人のためになろうと校内外を清掃するにこじろうタイム。今年度の校外編は通学路のゴミ拾い。夏休みににこにこ広場でも幼児とふれあいます。3月には6年生が保護者や地域の方を学習センターに招いて感謝の会を行います。



上内田小学校児童は地域の皆様の御協力により、今日も『げんきいちばん』で活動しています。

掛東学園だより

平成 30 年度 1 月号
掛 東 学 園
(掛川市立東中学校)

一園・学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域の子どもたちを育てましょうー
(東中、掛一小、上内田小、西山口小、ひだまり幼保、すこやかこども園、智光幼、掛川特別支援学校、掛川工業高、第一地区、第二地区、南郷地区、上内田地区、西山口地区)

「中学校区学園化構想ってなんだろう？」

掛東学園もこの掛川市教育委員会が提唱する「中学校区学園化構想」の下に活動しています。では、この「中学校区学園化構想」とはなんでしょう？

掛東学園子ども育成支援協議会も平成 25 年に発足して、はや 7 年目を迎えようとしています。丸 6 年活動してもなお掛東学園というものが地域に浸透しているという実感が乏しいのは事実だと思っています。それは“学園”というものが活動主体を持った組織というものではなくて、三つの小学校区の各地域を包む大きな枠組みであることに他なりません。

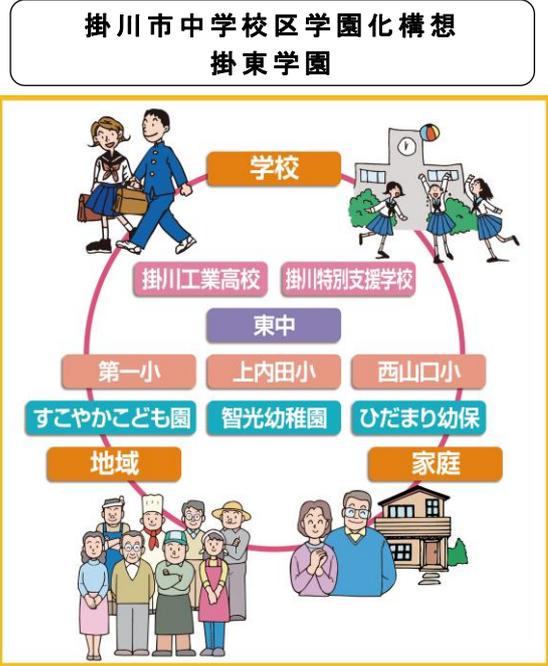
中学校区を包むエリアの総称といってもいかもかもしれません。その中で各地区のまちづくり協議会や福祉協議会、区長会を筆頭として各組織が様々な活動をしています。それらの活動と学校や家庭をつないでいるのが「掛東学園」であり、そのお手伝いをしているのがコーディネーターと言うわけです。

今年度、そういう意味で感激する出来事がありました。数年来の懸案でありました上張踏切北側の自転車待機スペースの拡張工事が決まりました。これは、現地の西山口地区の葛川区長さんの呼びかけで、踏切を利用する生徒がいる南郷地区、上内田地区が協力して要望書を提出したことで、ようやく実現されました。このように地域や地区の垣根を超えた活動が単一ではなかなか成し遂げられなかった問題の解決を可能にすることを証明したのです。

この掛東学園という枠組みの中で、各地域のさまざまな活動をする組織が協力し互恵関係を形成し、より楽しく生き活きた生活をする事が出来るエリアにしていく。そして、それらが児童や生徒に反映されて、ますます住みやすく活力ある地域にしていく。こうしたことが「中学校区」を「学園化」という「構想」の意味なのではないかと考えています。

そして、ゆくゆくは誰の眼にも「掛東学園の地域は、みんな仲が良いな。」と言われるようになってくれば、本当に良いなと楽しみにしています。

掛東学園地域コーディネーター 福田浩文



地域の皆様の協力をいただき、活動を進めています

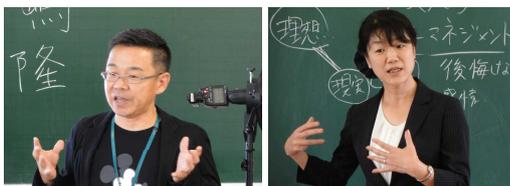
○総合的な学習の時間「掛川学」

地域を題材にした「掛川学」 地域の皆様の御協力をいただき学習を進めています

東中では地域を題材にした「掛川学」として、地域の皆様の御協力をいただき学習を進めています。1年生のテーマ「防災をとおして、掛川を知る」では、防災キャンプをはじめ、様々な防災学習プログラムに取り組みました。2年生「掛川ではたらく」では、働くことの意義について講話をいただきました。3年生「掛川を考える」では、「区長さんと語る会」にて地区をよりよくするために区長さんと意見交換をさせていただきました。



1年生
「防災をとおして、掛川を知る」



2年生「掛川ではたらく」



3年生「掛川を考える」

○合唱指導をしていただきました

今年度は、合唱集会を「生涯学習センター」で行いました。今年度も、伊達伸子様と竹花秀代様を講師にお迎えし、基本的な発声法などをご指導いただきました。その後も、伊達様と竹花様には合唱中間発表会でも引き続きご指導いただきました。東陵祭(合唱の部)当日も審査員を務めていただきました。合唱の東中にふさわしい素晴らしい合唱ができました。



○花壇に綺麗な花が咲いています

体育館前の花壇を、西山口地区福祉協議会ボランティア委員会花壇協力部の皆さんが整備してくださっています。ボランティアの皆さんには、土づくりから苗の植え付けまで丁寧に御指導いただきました。環境委員会の生徒も共同で花壇の整備を行いました。現在は、色とりどりのパンジーなどの花がきれいに咲いています。



○なないろび〜んず公演



11月21日(水)に、西山口読み聞かせボランティア「なないろび〜んず」の皆様による読み聞かせパフォーマンスを鑑賞させていただきました。毎年、生徒たちはとても楽しみにしています。スクリーンに絵を映し出したり、音響効果などの趣向を凝らしたりした読み聞かせで、生徒たちを楽しませていただきました。本年度も感動のステージをありがとうございました。

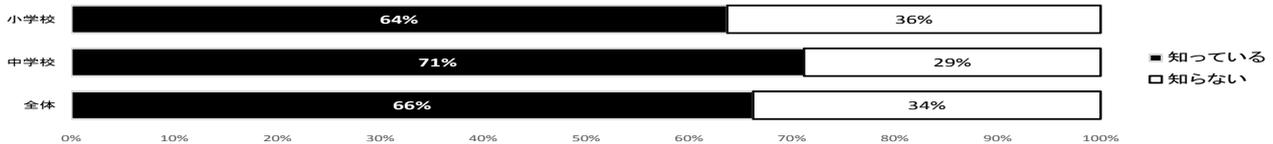
掛東学園だより

平成30年度3月号
発行 掛東学園
(掛川市立第一小学校)

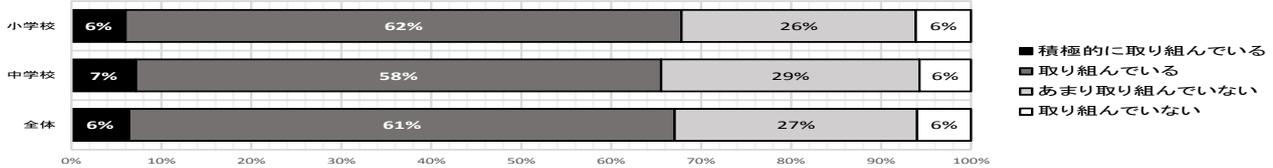
一園学校・家庭・地域が思いを一つにして、地域の子どもたちを育てましょう
(東中・掛一小・上内田小・西山口小・ひだまり幼児・すこやか幼保・智光幼・掛川特別支援学校・掛川工業高・第一地区・第二地区・南郷地区・上内田地区・西山口地区)

掛東学園アンケートへの御協力ありがとうございました！

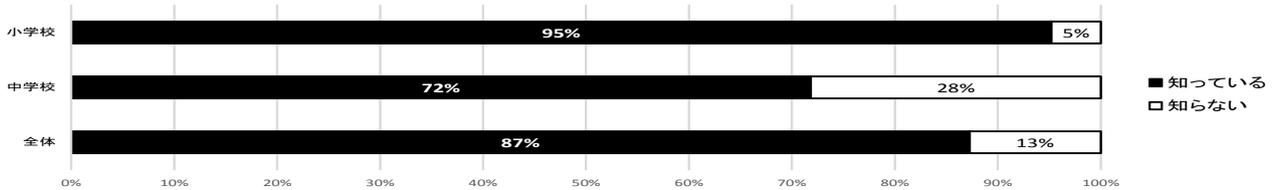
問1 あなたは「掛東学園子ども育成支援協議会」がどんな会か知っていますか



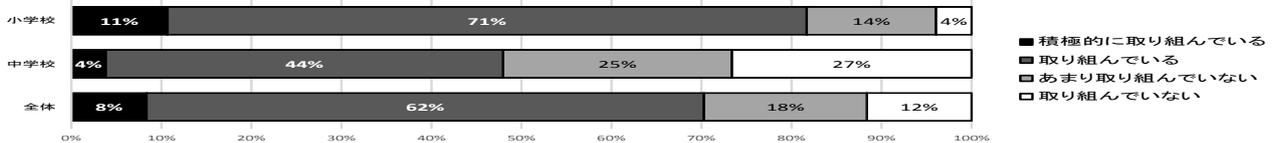
問2 あなたは「あいさつ運動」に取り組んでいますか



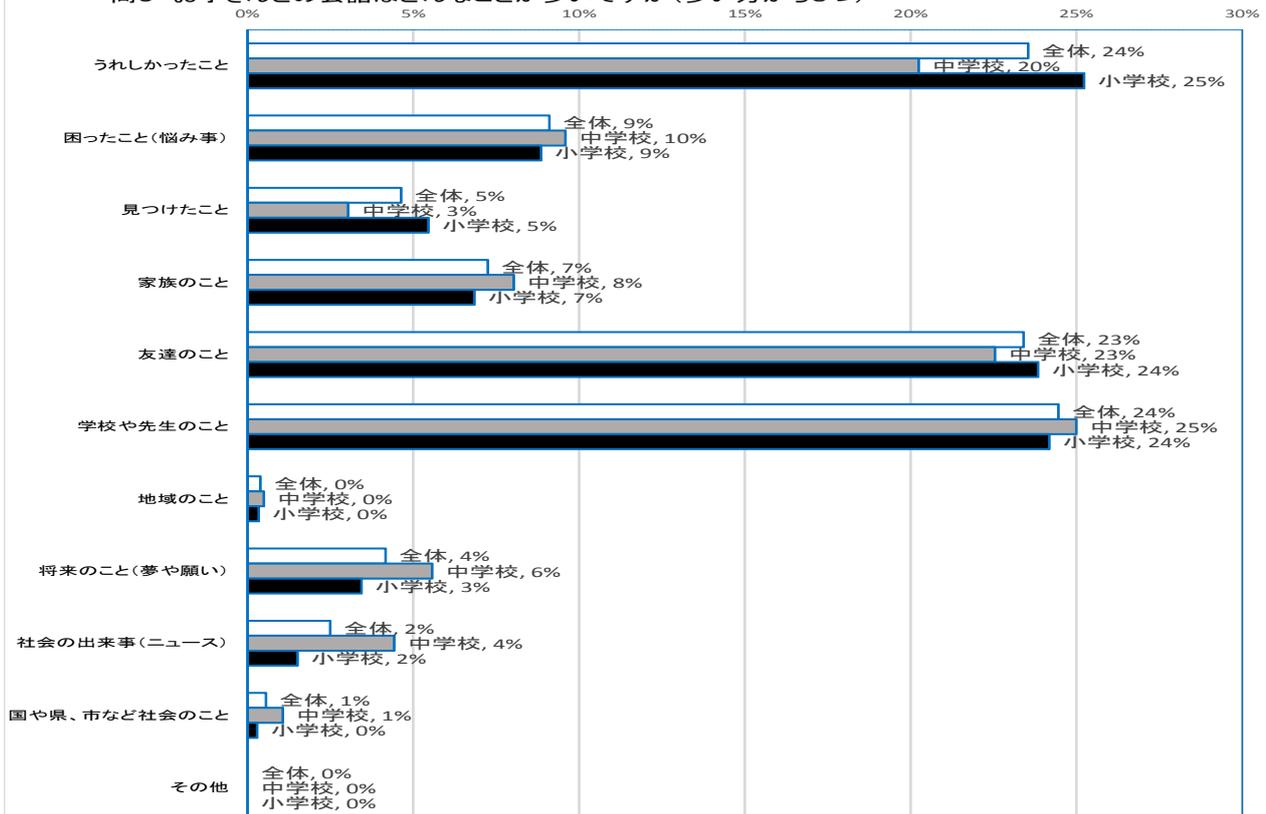
問3 あなたは「わんわんわん運動」がどんな活動か知っていますか



問4 あなたはわんわんわん運動に取り組んでいますか



問5 お子さんとの会話はどんなことが多いですか(多い方から3つ)



地域等の多くの方々の支えで、豊かな学びが展開しています

〈1年 牛舎見学 6/21〉



図画工作の時間に、学区内で牛を飼育している平野さんの牛舎を見学しました。みんな、牛の大きさにびっくりでした。その時の感動が作品にも表現されていました。

〈2年 乗り物探検 11/6〉



生活科の学習で、電車に乗って浜松子ども館に行くために、事前に掛川駅で切符の買い方や電車の乗り方について、駅員さんの説明を聞いて学習しました。

〈3年 商店見学 10/17・18・19〉



社会科の学習で、スーパーサンゼンの見学をしました。スーパーマーケットにおける物を売るための工夫をたくさん見つけてくることができました。

〈4年 掛川特別支援学校との交流 10/16〉



毎年、掛川特別支援学校の児童と交流しています。これまでに自分たちが考えて準備してきた遊びを通して、楽しく交流することができました。

〈5・6年 「ようこそ先輩（わかな いづみさん）」 2/18〉



総合的な学習の時間に、「ようこそ先輩」として、本校の卒業生でシンガーソングライターのわかないづみさん（本名 大畑稚菜さん）をお招きして、これまでの生い立ちから、仕事の魅力、夢をもつ大切さなどについてお話をいただきました。わかなさんは、「大好きな歌を仕事にできるのは本当にしあわせです。みんなも自分の力を信じて、楽しいと思えることを続けてほしいです。」と語りました。また、透き通った素晴らしい歌声で、多くの歌も聴かせていただきました。